

野鳥の詩^{うた}



トビ (全長 59cm、69cm)
撮影場所 本庄、利根川新坂東大橋上空
鳴き声 「ピーヒョロロロ」

ワシタカ類は概してメスの方が少し大きく、トビも例外ではありません。この時期、ノスリやチュウヒなどいろんな猛禽類が飛翔していますが、簡単なトビの見分け方、まず尾を確認してください、三味線のバチ形でしたら、ずばり「トビ」です！また翼の先の指状の羽がトビは6枚、他の猛禽は6枚以上です。但しよほど低空でゆっくりと飛んでくれないと確認は困難です。

この写真は1000分の1秒でトビを止めました。

文・写真 町田好一郎

料理材料 (3人分)

| | | |
|-------|-------|------|
| ねぎ | | 1/2本 |
| 大根 | | 1/4本 |
| にんじん | | 1/2本 |
| しいたけ | | 3個 |
| ごぼう | | 1/2本 |
| 油揚げ | | 1枚 |
| なす | | 1個 |
| ほうれん草 | | 1/2束 |
| だし | | 適量 |
| 小麦粉 | | 300g |
| 卵 | | 1個 |

わが家の味自慢



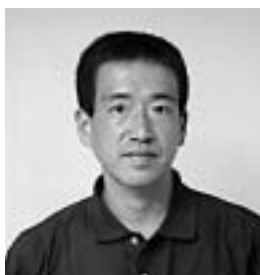
すいとん

寒くなるこれからの季節におすすめのすいとん。昔なつかしい“おふくろの味”をお試してください。



田島宏美さん (千代田1丁目)

- ①【料理の作り方】ねぎを斜め切りに、大根とにんじんをいちょう切りに、ごぼうをささがきに、油揚げを短冊切りに、なすは皮をむいていちよう切りに、しいたけとほうれん草は食べやすい大きさに切る。②大きめの鍋に油を入れ、①(ほうれん草を除く)を炒める。③②に水を1ℓ入れて煮る。④煮ている間にすいとんの粉を作る。(小麦粉の中に卵を入れて、耳たぶの硬さくらいになるまで水でよくかきまぜる。)⑤③の野菜が煮えたら、だしとほうれん草を入れる。⑥煮たついているところへ、大きめのスプーンで1さじずつ④の粉を入れる。⑦粉が煮えたらしょう油を加え、味を調整してできあがり。



植木 規さん (東台1丁目)

わたしのふるさと

美しい瀬戸内海と古くから伝わる伝統行事

広島県福山市

岡山県に隣接し、町の南側に瀬戸内海が広がる広島県福山市が私のふるさとです。福山市は、県内では広島市に次ぐ大きな都市で、瀬戸内海の美しい景色を眺めることができます。特に観光名所として有名な瀬戸内海から眺める景色は、海と島のコントラストがとてもきれいです。市街地は落ち着いた雰囲気、福山駅からは福山城が目の前に見えます。駅の前にはお城があるの割と珍しいのでは無いでしょうか。アーケード街では大みそかから元旦にかけて商店が夜中まで開けてお客さんにふるまい酒を出すのが毎年の恒例行事で、私も初もうでの帰りによく立ち寄ったのですが、残念ながらその行事も今年で終わってしまいました。今でも行われている代表的な行事としては、「ばら祭り」「観光鯛網」「花火大会」などがあげられます。ばら祭りは、たくさんのお花が咲き乱れるばら公園を中心に5月に開催されます。ばら市の花に指定されているため、ばらにちなんだ名称の公共施設も少なくありません。観光鯛網は30

0年以上も前から伝わる初夏の風物詩で、鯛がたととなりましたが、現在も瀬戸の海岸で漁師たちが網を手に大漁を祈願して行います。また、市内を流れる芦田川で開催される花火大会も夏の名物行事となっています。海に面しているため魚介類が豊富で、瀬戸内海の特産品であるママカリは、酢漬や揚げたてを食べるのがおすすめです。ごはんをおかわりしたくなるほどおいしいことから、「おまんま借りたい」という言葉が語源となっているそうです。広島アジア大会が開催されたのを機に、市内には新しい道路や公園が増えましたが、レトロな部分も残しながら観光地として親しまれています。



野鳥の詩^{うた}



ジョウビタキ (全長14cm)
鳴き声「ヒッ、ヒッ、ヒ
カッ、カッ、カ」
撮影地 市内仁手裏根川

両翼の白い紋が印象的です。お正月近くに中国やサハリンから渡ってくるので縁起が良い鳥で「紋付き鳥」とも呼ばれます。鳴き声の「ヒッ、ヒ、カッ、カ」がまるで火打ち石をこするよう響きなので、「ヒタキ」と命名されたようです。ちなみにジョウは翁、オスの頭は白銀色です。

オスもメスもそろいのパールック、庭先でチョココン、チョココンとおじぎをする姿はまことに愛らしく、毎年我が家に渡ってくるのを楽しみにしている野鳥ファンも大勢いますよ!

文・写真 町田好一郎

岡田 丹奈ちゃん

【けや木3丁目】2歳10か月

くいしん坊で活発になちゃん、いたずら好きな女の子。最近のお気に入りハサミ。楽しそうに何でもチョコキチョコキします。この間は毛糸の帽子を切って、ママをびっくりさせちゃいました。

父：直人さん 母：笑美さん



わが家の
アイドル
王様



西澤 知真くん

【寿1丁目】2歳8か月

かずちゃんの特技はだれとでもお友だちになれること。初めてあった子にも「いっしょに遊ぼう」と声をかけてすぐ仲良しに。お家では、生まれたばかりの弟をかわいがるやさしいお兄ちゃんです。

父：明彦さん 母：美奈子さん



清野 勉さん
(千代田2丁目)

わたしのふるさと

大河ドラマの世界を
探訪できるまち

岩手県一関市

みちのく岩手県の南の玄関口に位置する一関市が私のふるさとです。西には岩手・秋田・宮城3県にまたがる須川岳(栗駒山)と須川温泉があり、その手前には景勝地、厳美溪があります。また周辺には、北上川をはさんで東に狛鼻溪があり、北隣は藤原三代で有名な平泉と、岩手県南部の観光と歴史の中心に位置する城下町です。

私のおすすりは狛鼻溪です。一関市の隣町にあるのですが、垂直に切り立つ崖壁が約2kmにわたって、春の藤、秋の紅葉時は一段と美しさを増します。船頭歌を聞きながらの川下りも楽しめます。

歴史的には、古のアテルイと坂上田村麻呂の活躍から源氏と阿部氏の戦い、そして義経の悲劇、また「忠臣蔵」の浅野内匠頭を預かった田村右京大夫は一関三万石の殿様だったなど、大河ドラマ級の世界が広がります。

現在は岩手県の一部ですが、古くは伊達藩の領域だったため、言葉や風習、食べ物など、文化面では南隣の宮城県とよく似ています。

食べ物では、なんと「ずんだ餅」です。

「ずんだ」は豆打が変化した言葉で、枝豆をすりつぶし、砂糖で味付けし、たずんだ餅にからめて食べます。

また、全国的には「ずい」とん」と呼ばれている「はつと」もたいへんおいしいです。一般的にずいとんとは異なり、うどんを作るときと同じ程度に練った小麦粉を、子どもも耳たぶほどの大きさに指で広げてちぎって鍋に入れます。具はたくさんで、昔はぜいたく食で御法度になつたことから、「はつと」と呼ばれるようになったそうです。

一関市までは、新幹線で東京から2時間少々、車でも高速道を使って本庄から5時間ほどで行くことができます。観光と温泉、そして歴史探訪にぜひお出かけください。

